

「もしも主が私たちの味方でなかったなら」

(詩篇124篇)

奉仕神学生：原 こすも

序) 主は私たちの味方

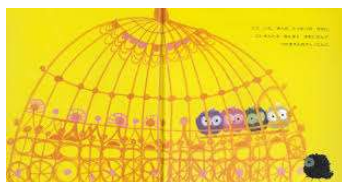
- ・もしも、主が私たちの味方でなかったら、どうだったかと問うことで、神の守りを思い起こし、主に目を向ける歌。
- ・キリストの愛を受け取った者は、神が味方してくださる。(ローマ8章)

1) 大水によっても

- ・敵の怒りが「大水が押し寄せる」モチーフで描かれている。
- ・4節と5節の「私たち」=「私たちのたましい」が直訳
- ・4節「濁流」は「小川」とも訳される「ワジ」のことで、普段は何ともないところが荒れ狂ったように流れ出す様と受け取ることができる。
- ・人の怒りで、身も心もぼろぼろになることがあり得る。しかし...
- ・主が味方であっても、敵対する者は現れる。しかし、共にいてくださる方がいるので、じっと耐え忍ぶことができる。

2) 仕掛けられた罠からも

- ・6節からは、鳥が罠にかけられた様子がモチーフになっている。
- ・私たちのたましいが、罠にかけられ、身動きが取れなくなることが起こるかもしれない。
- ・私たちの生活の中にも、動くべき時があり、じっとすべき時がある。
- ・忙しい現代社会の中で、仕掛けられている「罠」もある。
- ・神との関係を断ち切れようという力は働いている。



結) 私たちの助けは天地を造られた主の御名に

- ・主は、私たちの味方でいて下さることに確信をもって、安心して踏み出そう。

名前(_____)

◆お話を聞きながら、答えを考えましょう。

① 「この人が味方でよかった」と思うのは、どんな時でしょうか。

② 神様が味方であるとわかっていると、どんな心強いことがありますか。

③ あなたの心から、神様を忘れさせようとする「わな」は、どんなものがあるでしょうか。

◆お話を聞いた後で、考えましょう。

④ 神様は、あなたの味方ですか。そう自信をもって言えますか。それはなぜですか。

～教会クイズ(教理問答)～

Q038 「永遠のいのちを信じます」とは、どういうことですか。

A038 わたしたちの命は、で終わるのではなく、
に、イエス様と結ばれ様と

共に生きると信じることです。